

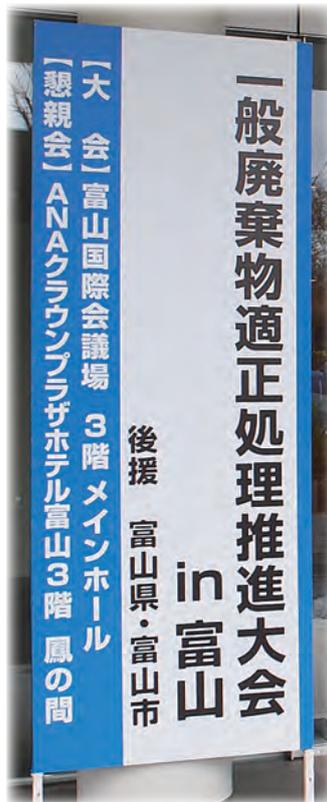
もったいないの心を大切に!

No.28

# 環境タイムズとやま

とやま  
環境  
タイムズ  
とやま

富山県環境保全協同組合 発行所/富山県富山市野々上字地送6番地 TEL (076) 434-2802 FAX (076) 434-4440  
URL <http://www.kankyo-hozen.net/toyama/>



## 【主な記事】

- ・平成28年度通常総会
- ・平成28年度事業計画
- ・(一社)日本環境保全協会の各種事業
- ・北陸環境保全協会事業
- ・研修会「気候変動問題とCOP21パリ協定の意義」
- ・一般廃棄物適正処理推進大会in富山
- ・新組合員の紹介
- ・表彰受賞祝賀会
- ・第27回行政懇談会
- ・レポート・寄稿文
- ・第24回立山環境美化登山





## ご挨拶

富山県環境保全協同組合 理事長 上田 勝 朗

昭和35年8月1日に設立した業界団体が56年目を迎えています。設立当時の会員は一人だけになっています。理事会の構成も2代目、3代目になっています。会員各社の主要業務はし尿の関係は少なくなっていて、環境に係する業務を幹として大きな転換をしてきています。

昨年秋、一般社団法人日本環境保全協会が主催する「一般廃棄物適正処理推進大会in富山」を富山市で開催しました。全国から近年では最高の会員の皆さんに参加いただき、大成功でした。今年、5月にG7環境大臣会合が富山市で開催され、世界に富山を発信できたことも大きな出来事でした。昨年の「全国豊かな海づくり大会」や来年の「全国植樹祭」など北陸新幹線の影響も

あり、富山県が自然豊かで、環境意識の高い県として注目されています。その富山県のイメージとして自然との共生であると思います。富山県の自慢、宝は名水であり、富山湾の海の幸であると思います。何をもって名水というのか？…それは、おいしい水であり、豊富な水、水辺の景観など誰かが作ったのではなく、守ってきたものなのです。環境業務に関わるものとして、水環境にこだわりを持って、現在の名水を未来に引き継ぐためにも、生活排水対策について行政と業界が一体となって、水の先進環境県である富山県というイメージを高めて行きたいと思っています。

## 富山県環境保全協同組合 平成28年度第30回通常総会 《清掃協会・環境保全協会から56回目》

富山県環境保全協同組合の平成28年度通常総会は4月27日(火)午後2時より組合会館で開催いたしました。廣瀬淳専務理事が開会を宣し、議長を選任の結果、竹林亨氏が選任されました。

平成27年度事業報告及び収支決算報告、役員改選、会費改正、平成28年度事業計画(案)及び収支予算(案)について審議を行い全議案とも異議なく承認されました。

- 〈議案〉
- 第1号議案 平成27年度事業報告承認の件
  - 第2号議案 平成27年度収支決算承認の件(監査報告)
  - 第3号議案 役員改選について
  - 第4号議案 会費改正について
  - 第5号議案 平成28年度事業計画(案)承認の件
  - 第6号議案 平成28年度収支予算(案)承認の件
- その他



## 《平成28年度事業計画》

本年度は、継続事項を重点に事業計画を進め、協同組合と会員各社が更に発展的に相互の繁栄と業務の安定化を図り、社会貢献も積極的に進めたい。

	計 画	事業内容
1	廃棄物の処理及び清掃各業務の委託・許可、営業既得権益の確保に邁進する。	一般廃棄物の収集運搬に関するマニュアルの作成 ----- 各市町村を訪問説明
2	県や市町村が行う下水道整備計画に伴って生ずる「下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法」に基づく代替業務等営業補償獲得や金銭補償などに総力を集中し、関係機関に対し強力な陳情、要請要望活動を進める。	各市町村を訪問説明（要望書） ----- 一般廃棄物処理業将来構想
3	市町村の固有事務である、し尿収集運搬業務の実態を訴え、相互連携の中で法律を遵守し、適正料金への値上げ運動を勢力的に進めていく。	原価計算書の作成 ----- 各市町村を訪問説明（要望書）
4	浄化槽の保守点検及び清掃技術の向上のため、講習会及び広報と啓蒙活動の実施や優良協会及び事業所の視察、また業界新情報の収集等業務体系の前進拡大を期す。	先進地の視察研修 ----- 各種研修会の開催
5	啓蒙が必要と考える環境問題について、広く理解してもらうことと組合の活動や組合員の事業の認知度を高めるために、ホームページを充実させ情報を発信する。	会報の発行とHPの更新 ホームページの活用を研究
6	共同購入事業の円滑な推進を図るため、組合員の取り扱う資材の共同購入を行う。	共同購入 共同商品、共同事業の開発
7	交通安全、労働災害等事故の防止のための労働安全衛生事業の推進を図る。	安全対策の研修、研究
8	周囲の諸情勢認識の中で、組合員相互の団結と融和で組織の強化に務める。	業界の現状認識と今後の事業研究開発
9	一般廃棄物、産業廃棄物の適正処理処分及びリサイクルを図り、地域の環境保全や循環型社会の構築に寄与する。	現在の事業を生かしながら新規事業の開発 環境保全懇話会
10	地球環境から地域の環境について、情報収集や啓蒙を組織的に取り組む。	環境イベントに参加
11	行政機関及び関係諸団体との情報交換と連携の強化。	各種懇談会・県議会と懇談会 ----- 日本環境保全協会、北陸環境保全協会の事業への参加
12	各所属団体、環境関連の表彰に関して積極的に推薦する。	会員の国、県、市町村並びに団体の表彰
13	組合を通じた社会貢献活動	立山環境美化登山 各社でのクリーン作戦
14	震災復興の支援と対策から学び、災害時のBCP（事業継続計画）・危機管理行動対応について研究	復興の支援と震災対策から学ぶ協同組合としての行動マニュアル作成

## 一般社団法人日本環境保全協会 「平成28年度新春特別講演会・新年賀詞交歓会」

- 開催日：平成28年1月15日(金)
- 会場：ホテルグランドパレス
- 特別講演会：
  - 演題 「衛生の確保の重要性について」
  - 講師 前麻布大学大学院教授 早川哲夫氏
- 新年賀詞交歓会



山東昭子参議院議員  
(環境保全議員連盟会長)



小池百合子衆議院議員  
(元環境大臣)

平成28年1月15日、一般社団法人日本環境保全協会の新春特別講演会・新年賀詞交歓会が東京のホテルグランドパレスで開催されました。富山県環境保全協同組合からは上田理事長、針田副理事長、廣瀬専務理事、島小一監事、島正己理事の5名が参加、早川哲夫麻布大学教授・元厚生省容器包装リサイクル推進室長にご講演いただきました。「環境省部長通知を読み解く」と題し、「一般廃棄物処理は市町村以外に委託または許可する場合でも市町村が統括的な責任を有し適正処理の継続かつ安定的な実施が確保されること」、「一定の区域で一般廃棄物処理業の許可または更新を受けているものは他の者にされた許可または更新処分について、その取消し訴訟における原告適格を有すること」などについて解説をいただき改めて一般廃棄物処理業の原理原則・重要性を認識しました。賀詞交歓会には山東昭子参議院議員(環境保全議員連会長)、小池百合子衆議院議員(元環境大臣)をはじめ多くのご来賓にご参加をいただきました。

## 一般社団法人日本環境保全協会平成28年度定時総会及び中央事業 ＝「特別講演会」・「懇親会」・「環境保全機器展」＝

- 開催日：平成28年6月9日(木)
- 会場：ホテルグランドパレス
- 第3回定時代議員会
  - 議事 1.平成27年度事業報告について
  - 2.平成27年度収支決算承認について
  - 3.理事選出について
  - 4.平成28年度事業計画について
  - 5.平成28年度収支予算書について
  - 6.その他
- 特別講演会：
  - 演題 「平成26年1月28日の  
最高裁判判決後の業界動向について」
  - 講師 一般社団法人日本環境保全協会顧問弁護士  
平松 和也氏
- 懇親会
- 第50回環境保全機器展



## 一般社団法人日本環境保全協会 「第2回青年部事業推進協議会・研修会」



○開催日：平成28年2月26日(金)

○研修会会場：

一般社団法人東京環境保全協会大会議室

研修会テーマ「東環境研修センター概要」

講師 一般社団法人東環境研修センター

センター長 折原 秀博 氏

○懇親会会場：ホテルグランドパレス

### ■一般社団法人日本環境保全協会 第二回青年部事業推進協議会レポート

富山県環境保全協同組合青年部会長 原野 誠

平成28年2月26日に開催されました、一般社団法人日本環境保全協会の第二回青年部事業推進協議会及び研修会に、山内・竹林の両副部会長と三名で出席致しました。

(一社)東京環境保全協会大会議室で開催された研修会では、(一社)東環境研修センターの折原秀博センター長様より、「東環境研修センターの概要」の内容でご講演頂きました。東京23区の廃棄物処理状況や、清掃事業の現状と課題等を学びました。印象に残った内容は、この業界で特に重要であると考えられる顧客対応とコンプライアンス(法令順守)で、その中でも作業事故件数・苦情件数のお話があり、改めて自身の再認識と社員教育を通じて周知徹底が必要であることを実感しました。

研修会後は場所をホテルグランドパレスに移し、全国同業者の青年層60名ほどの参加者で懇親会が行なわれました。副委員長ということで挨拶と乾杯をさせて頂き、そこで、私たちは日々の確な判断を求められる立場と世代にある、「判断力の差は情報の差」であるので、この場でしっかり情報交換を行い多くの情報を得て、各社にて活かして頂ければ幸いです、と挨拶させて頂きました

しかし、今回の目的は学びと交流だけではありません。昨年11月20日に富山県にて開催された、(一社)日本環境保全協会 一般廃棄物適正処理推進大会(前 日本環境保全協会合同役員会議)の御礼を

するべく参加をさせて頂きました。昨年の第一回の本協議会にて大会PRをさせて頂き、大会には全国から240名を超えるご出席を賜り、その中でも全国より多くの青年部の同志に富山県へ足を運んで頂くことが出来ました。大会を無事に終えることができました感謝と御礼を、多くの方と交流しお話が出来た宴席で一人一人の方へお伝えさせて頂きました。改めましてこの場をお借りし、ご出席賜りましたすべての皆様へ感謝申し上げます。

その後はいよいよ恒例の各県事業報告の時間となりました。例年は私が富山県環境保全協同組合青年部会の事業報告を行っていたのですが、今回は山内、竹林の両副部会長が緊張しながらも、参加者を笑顔にする話しぶりで立派に事業報告をしてくれ、さらに会場が盛り上がり多くの仲間と絆を深めることが出来ました。

この場に参加することに多大なご理解を賜りました上田理事長には、心より感謝申し上げます。頼もしい副部会長もおり、本年度は若い新入会員も増え青年部会はパワーアップしております。青年部会全員で与えて頂いた役割を果たし、先輩諸兄よりご指導を頂きながらも、新たな発想を持ち寄って話し合い、地域の環境保全のため、また本業界発展のために、若さあふれる行動して参りますので今後も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い致します。



## 北陸環境保全協会 平成27年度全体会議

○開催日：平成27年9月9日(水)

○会場：砺波ロイヤルホテル

○会議：

議題 ①平成26年度収支決算報告

②各県の現状報告

③その他

○講演会：

演題 「一般廃棄物処理業に係る情勢について」

講師 一般社団法人日本環境保全協会

専務理事 阿久津 民和 氏



## 北陸環境保全協会親睦ゴルフコンペ

○開催日：平成27年9月10日(木) 快晴

○優勝：谷崎 晃(福井)

○会場：高岡カントリー倶楽部



## 一般廃棄物実務管理者講習 (第3回富山会場)

- 開催日：平成27年10月7日(水)
- 会場：富山県環境保全協同組合1階会議室
- 主催：一般財団法人日本環境衛生センター
- 受付機関：富山県環境保全協同組合

- 講義内容：
  - ①一般廃棄物処理事業従事者の心構え
  - ②廃棄物処理法の解説
  - ③収集運搬業務管理
  - ④労働安全衛生



(一財)日本環境衛生センター南川秀樹理事長  
(元環境省事務次官)



## 研修会 「気候変動問題とCOP21パリ協定」 (富山県中小企業団体中央会助成事業)

- 開催日：平成28年2月10日(水)
- 会場：富山県民会館704号室
- 講師：(株)環境文明研究所 代表取締役所長 加藤 三郎氏  
(初代 環境庁企画調整局地球環境部長)
- 企画：研修開発委員会
- 参加人数：31名(組合員企業以外に市町村・中央会・一般からの参加がありました)



# 一般社団法人日本環境保全協会 平成27年度一般廃棄物適正処理推進大会 in 富山

- 開催日：平成27年11月20日(金)
- 会場：
  - 推進大会 富山国際会議場
  - 懇親会 ANAクラウンプラザホテル富山
- 歓迎挨拶：富山市長 森 雅志 氏
- 推進大会：午後2時～午後4時45分
  - 表彰 優良事業従事者会長表彰  
(富山県4名)



- 特別講演
- 第一部『環日本海地域の  
「環境・エネルギー先端県」づくり』  
講師：富山県知事 石井 隆一 氏
- 第二部「廃棄物処理・リサイクル行政の動向」  
講師：環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対  
策部廃棄物対策課長 和田 篤也 氏



- 懇親会：午後5時15分～午後7時15分  
〈ご来賓〉

参議院議員・環境保全議員連盟会長  
山東 昭子 氏  
(代理出席 勝俣岳人氏)

〈富山県ご来賓〉

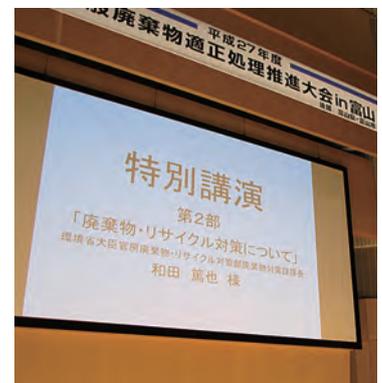
衆議院議員 宮腰 光寛 氏  
衆議院議員 橋 慶一郎 氏  
(代理出席 今井孝夫氏)

衆議院議員 田畑 裕明 氏  
参議院議員 野上浩太郎 氏  
参議院議員 堂故 茂 氏  
(代理出席 池田士寿男氏)

富山県議会議長 横山 栄 氏  
富山県議会議員 上田 英俊 氏  
富山県生活環境文化部次長 熊谷 和哉 氏  
富山県生活環境文化部環境政策課長 杉田 聡 氏  
富山県生活環境文化部環境政策課 廃棄物対策班長 中島 浩薫 氏

- 総出席人数：241名  
(推進大会230名・懇親会228名)

富山県人数：55名  
(会員32名・国会議員・県議員・県・市町村23名)



### ○視察観光

五箇山・相倉合掌造り集落  
氷見「民宿あお」で昼食  
ひみ番屋街(氷見漁港場外市場)  
国宝瑞龍寺

52名参加

一般社団法人日本環境保全協会は、11月21日富山国際会議場で平成27年度一般廃棄物適正処理推進大会in富山を富山県・富山市の後援を得て開催され7項目の大会決議を満場一致で採択。安心・安全の・快適な国民生活の基盤を支え、一般廃棄物の適正処理確保に全国組織の連携を一段と強化して貢献することを誓った。



宇田川会長



上田理事長



宮腰光寛衆議院議員



田畑裕明衆議院議員



横山議長



野上浩太郎参議院議員



## 大会決議

日本環境保全協会は昭和36年に日本初の清掃業者の全国団体として設立いたしました。爾来、半世紀を超えて一般廃棄物処理業者の健全な発展へ全会員一致団結のもと事業の推進を図ってまいりました。

私共は日本全国津々浦々で地域住民の快適・清潔な生活を支え、日夜、し尿処理・ごみ処理事業に挺身しております。

美しく安心・安全の国、日本を未来に発展継承する為、地域に根差した企業集団として、地域の環境の保全と地域創生に貢献する決意であります。

今日まで脈々と続く歴史実績と身を粉にして培った技術力を礎に一般廃棄物処理の公共性と重要性を確固たるものとするため、ここに強い連帯を持って以下7項目を満場一致決議いたします。

1. 国民の生活環境の保全・安心・安全の確保に貢献！
2. 災害緊急時における廃棄物の適正処理体制の強化徹底！
3. 経済至上主義の入札導入阻止！安定かつ恒常！
4. 一般廃棄物処理業者の積極・的確なりサイクル事業対応推進！
5. し尿処理体制確保の生命線・合特法の適用強化推進！
6. 浄化槽普及促進！適正清掃・保守点検・検査事業推進！
7. 環境保全事業を総合的に担う企業集団へ会員組織連携強化！

平成27年11月20日

一般社団法人日本環境保全協会  
平成27年度一般廃棄物適正処理推進大会 in 富山

# 新組合員の紹介 (平成28年4月27日入会)



株式会社公生社の齊藤隆宏です。  
 申年生まれの36歳、年男です。  
 趣味はバスケットボールやゴルフなどのスポーツや体を動かす事が好きです。  
 好きな言葉は Stay hungry. Stay foolish. です。

この歴史ある組合に参加させて頂いた事に、一会員としての責任を重く感じながらも新しい歴史を作っていこうという思いで溢れております。  
 まだまだ若くいたらない事も多々あると思いますが、皆様方にご指導を賜りながら会員としての責務を果たせるよう精進いたしたいと思っております。  
 今後ともどうぞよろしくお願いたします。

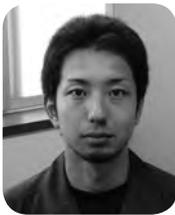
株式会社 公生社  
 取締役営業企画室長 齊藤 隆宏  
 生年月日 1980年4月8日



4月に入会しました針田です。趣味はスポーツ全般、体を動かすことが趣味、と言いたいところですが最近は肥満気味の為、趣味としてでなく健康の為に無理やり運動している今日この頃です。  
 スポーツといえば今年オリンピックが開催され、テレビ越しではありますが代表選手の方々から多くの感動をもらいました。

自分は、メダルを勝ち取った感動よりも、その後に知る、選手の皆さんのひたむきさや、努力、その情熱、強い使命感に感動が膨れ上がる感覚がありました。そして選手の皆さんがインタビューで必ずおっしゃるのは、周りの人たちへの感謝の言葉であり、自分の目標がみんなの目標になった時に、達成に近づくものであると感じました。同じようにと言っても簡単ではありませんが、環境と地域の為にひたむきにみなさんと取り組んで行きたいと考えておりますのでよろしくお願いたします。

クリーン産業 株式会社  
 取締役 針田 慶  
 生年月日 1982年10月5日生



本年度より富山県環境保全協同組合に入会させて頂いた、新高清图掃株式会社の金井芳樹です。  
 趣味はスポーツで、学生時代は野球とラグビーをやっていました。野球は同級生と草野球チームを結成し、休日には今でも汗を流しています。また、ここ最近はゴルフの方も練習を始めました。

年齢は26歳とまだまだ未熟者ではございますが、組合・青年部会を盛り上げていきたいと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願いたします。

新高清图掃 株式会社  
 業務課総括 金井 芳樹  
 生年月日 1989年12月27日



株式会社高岡市衛生公社の島尚之と申します。  
 趣味は旅行。旅先で色々な人と触れ合う事を楽しみにしています。  
 好きな言葉は「袖振り合うも多生の縁」。

今回、四国は愛媛県松山市の出身である私が、富山県環境保全協同組合に入会させて頂くこととなりました。  
 今回の入会を通し、再びこの言葉の意味、意思や希望を超えた「縁」というものの素晴らしさを感じております。折角いただいた皆様との「縁」、今後はさらに深め「絆」へとつなげていきたいと思っております。  
 今後ともどうぞよろしくお願いたします。

株式会社 高岡市衛生公社  
 管理部 部長 島 尚之(しまたかゆき)  
 生年月日 1968年11月8日

## 追 悼 —ご功労に感謝し謹んでお悔やみ申し上げます。—

黒部クリーン(株) 代表取締役会長(元副理事長) 経 和 夫氏(84歳)  
 平成27年9月2日 ご逝去

日環サービス(有) 代表取締役会長(元理事) 嶋 田 輝 光氏(82歳)  
 平成28年3月24日 ご逝去

(有)福岡クリーン・アルファ 相談役(元会員) 永 原 善 三氏(88歳)  
 平成28年5月7日 ご逝去

# 表彰受賞祝賀会

## 《循環型社会形成推進環境大臣表彰》

受賞日：平成27年10月1日  
 富山県環境保全協同組合元理事  
 実研工業(株) 代表取締役社長 水口 實氏

## 《富山県功労知事表彰》

受賞日：平成27年11月3日  
 富山県環境保全協同組合理事長  
 (株)黒東アメニティ公社  
 代表取締役副社長 上田 勝朗氏

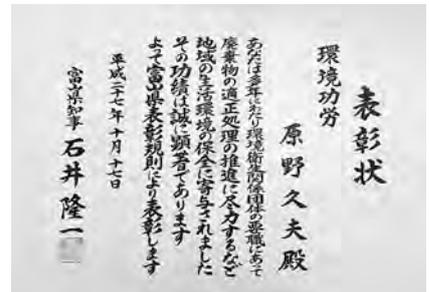
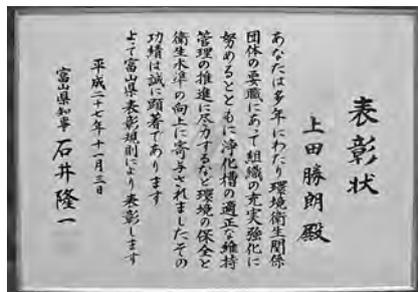
## 《富山県環境保全部門功労知事表彰》

受賞日：平成27年10月17日  
 富山県環境保全協同組合前副理事長  
 (有)クリーンアクト砺波  
 代表取締役会長 原野 久夫氏



## 《受賞記念祝賀会》

◇発起人：針田正尚、原田義夫、廣瀬 淳、嶋田仁司  
 ◇開催日：平成27年12月17日(木)  
 ◇会場：オークスカナルパークホテル富山  
 ◇出席者：組員22名・事務局1名  
 竹林 悟・竹林 亨・上田和男・山内大輔・廣瀬敏雄・廣瀬和夫・廣瀬美津子・廣瀬 淳・数井勝己・針田正尚・原田義夫・金井武史・島 正己・岩上吉弘・島 小一・定塚慎太郎・出村康夫・原野 誠・嶋田仁司・中井宗義・長田聖真・藤永吉成・松田繁子



# 富山県生活環境文化部環境政策課との研修会

- 開催日：平成28年1月13日(木)
- 会場：富山商工会議所96～97号室
- 企画：総務委員会
- 講師：富山県生活環境文化部環境政策課 廃棄物対策班長 中島浩薫氏
- 内容：「私たちの暮らしと未来を支える環境」



# 富山県生活環境文化部環境政策課・富山県環境保全協同組合 第27回行政懇談会概要

○開催日時：平成28年8月3日(水)午後2時～4時

○開催場所：

○ご来賓：富山県生活環境文化部環境政策課  
主幹 九澤 和英 氏  
富山県生活環境文化部環境政策課  
主査 八田 哲典 氏  
富山県生活環境文化部環境政策課  
主任 木原 忍 氏

○出席者：竹林 悟・竹林 亨・上田勝朗・  
廣瀬 淳・齋藤隆宏・原田義夫・  
金井武史・金井芳樹・数井勝己・  
針田 慶・岩上吉弘・原野 誠・  
長田聖真 他会員企業社員



## 《講演》

○演題：「これからの廃棄物行政の動向について」  
講師：廃棄物対策班 主査 八田 哲典 氏  
講演内容： 1. G7富山環境大臣会合  
2. 食品ロス・食品廃棄物対策  
3. 海岸漂着物対策  
4. 浄化槽に関する国の動向  
5. 環境施策の推進

## ○議題

- ①一般家庭・個人の不用品などの扱いについて
- ・行政で引き取ってくれないモノは一廃？産廃？  
(針・薬品等)
  - ・個人所有のモノで有害と特定される物の扱い  
(塗料・電池)
- ②グリストラップについて
- ・設置義務化はないのか？
  - ・排出者自ら清掃して一般廃棄物として排出している実態についての見解
  - ・業種や実態にあったグリストラップが必要だと思えます。
- ③グリストラップ汚泥の種類についての扱い
- ・油分が5%以上なら 汚泥+廃油
  - ・野菜くずが多ければ、動植物性残さ+汚泥ということでしょうか？

## ④魚網の処理について

・近年、魚網に鉛が編み込まれているとの事で、処理が難しくなっている。このため廃棄すべき魚網が、漁港内に野積みや、倉庫を占領している現状について考えをお伺いしたい。

## ⑤無料回収の状況について

・無料回収についてはピーク時から比べだいぶ減ったようですが、業者によってはいまだに電化製品の野積みや一部家電リサイクルに該当するようなものも見受けられるように思います。また、市民の間でも家電リサイクル法に該当する商品は、無料回収にだせば費用負担がないとの認識でいるかたもおられます。法的に何が該当してどのように罰せられるのか、また過去にどのような事例があったかを教えてください。

## ⑥法定検査の受験率アップについて

・毎年、浄化槽の定期点検・清掃・11条検査をしている設置者に対し、過去の成績により、行政から報奨金を出すというのはいかがでしょうか？県や市町村の商品券でもよいと思います。それにより清掃・11条法定検査の受験率が上がると思われま。

## ⑦浄化槽一括契約について

・県内で氷見市、黒部市に続いて本年4月から高岡市においても浄化槽の一括契約が始まりましたが、どこでも苦労されていて、県内に広まるのに時間がかかっています。県では、一括契約に関しての見解と、今後の対策などありましたらお聞かせください。

## ⑧浄化槽の警報器取り付けについて

・数ヶ月に1回の保守点検の状況で、故障に気付かなければ水質が悪化したまま長期間生活排水が垂れ流しになります。岐阜県では新設浄化槽において、浄化槽に故障時に知らせる警報器の取り付けを指導要綱で義務付けしていますが、富山県においてそのような考えはありませんか。

## ⑨浄化槽の台帳について信頼できるものにするために

・浄化槽が県内に何基あるのかが正しく把握されていないのではないかと。  
・無管理の浄化槽が正しく把握されていません。  
・県、浄化槽協会、環境保全協同組合でワーキング委員会を作って、できるだけ短時間で信頼できる台帳作りや無管理浄化槽の対策、法定検査受験率アップ等について会議をしてはどうでしょうか。個人情報に関係もあって業界だけでは対応できないと思います。

## G7 富山環境大臣会合と本県の環境について

富山県生活環境文化部環境政策課  
廃棄物対策班 主幹 九澤 和英

### <はじめに>

4月の異動で廃棄物対策班に配属され、はや数か月が経ちました。9年ぶりに廃棄物の担当となりましたが、県内では廃棄物処理事業者や市町村のご努力により多くのリサイクル施設が整備され、小型家電の全県的な回収や廃棄物焼却熱の高度な利用が実施されるなど、循環型社会の実現に向けた取組みが着実に進んでいることを実感しています。

さて、去る5月15～16日、本県で先進7か国の環境大臣などが今後の環境保全対策について意見交換を行う「G7富山環境大臣会合」が開催されました。今回、紙面をお借りし、特に廃棄物に着目して、会合を踏まえた本県の今後の取組みなどについてご紹介します。

### <富山物質循環フレームワークと食品ロス・食品廃棄物の削減>

G7富山環境大臣会合では、「気候変動」や「資源効率性・3R」、「海洋ごみ」など7つのテーマで意見交換が行われ、持続可能な開発に向けてG7が協調して取り組むことや、温室効果ガス削減の取組みをG7以外にも拡大していくことなどを盛り込んだ共同声明（コミュニケ）がまとめられました。

なかでも「資源効率性・3R」については、国際的に連携して資源や廃棄物の有効利用を進めることが確認され、新たに「富山物質循環フレームワーク」が採択されました。

本県は、これまでも全国初の県単位でのレジ袋の無料配布廃止や、法律のモデルにもなった小型家電リサイクルなど、県民や事業者の皆様と連携協力して廃棄物の発生抑制（リデュース）や再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に積極的に取り組んできたところであり、3つの“R”を推進する新たな枠組みに「富山」の名を冠していただいたことは、担当者としてとても励みになります。

このフレームワークでは、「食品ロス・食品廃棄物」の削減が具体的な取組み例に挙げられていることから、県では庁内プロジェクトチームを設置し、県内における食品ロス・食品廃棄物の実態把握などについて検討を開始したところであり、今後、その結果や国の動向なども踏まえ、関係団体や市町村など連携して取組みを進めていくことにしています。

### <海洋ごみ問題への対応>

「海洋ごみ」については、生物による誤食など生態系への影響が心配されるマイクロプラスチック（大きさが概ね5mm以下）の削減に向けて、プラスチックごみの回収・処理を促進することなどが合意されました。

本県でも、河口付近などに多くの漂着ごみが堆積しており、その8割が県内で発生したものと推計されています。県では、これまでも県内全域での清掃活動や、漂着ごみの原因となるトレイやペットボトルなどの回収・処理を推進してきたところであり、今後もこうした取組みにより「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟が承認された富山湾の素晴らしい環境を保全していきたいと考えています。

また、5月23日に本県が開催した「2016北東アジア自治体環境専門家会合inとやま」では、G7富山環境大臣会合の成果を踏まえ、日中韓ロ4か国の自治体などが環境保全に向けた連携強化について意見交換を行いました。その結果、海洋ごみの実態調査や原因となる廃棄物の発生抑制などに努めていくことなどを盛り込んだ「2016北東アジア自治体専門家会合とやま宣言」が採択されたところであり、本県としても、環日本海地域の環境保全に積極的に貢献していきたいと思えます。

### <おわりに>

G7富山環境大臣会合の開催地として本県が選ばれたことは、県民の一人として誇りに感じます。本県の歴史に残るビッグイベントを間近で感じることができ、たいへんよい経験になりました。

G7富山環境大臣会合を機に、本県の環境がさらに魅力あふれるものになるよう、今後も富山県環境保全協同組合の皆様と力を合わせて取り組んでいきたいと思えますので、引き続きよろしくお願いいたします。



海越しの立山連峰（高岡市の雨晴海岸）

## 「水が旅するまち うおづ」

魚津市長 村椿 晃

魚津市は、海拔0 mから標高2400 m以上の山岳地帯までが、奥行きわずか25kmに収まる大変急峻な地形から成り立っています。この地形は、海中まで続き、水深1000 mまで達します。この高低差3400mの地形の中を、表流水（布施川、片貝川、鴨川、角川、早月川）や伏流水（地下水）といったさまざまな経路で水が富山湾に流れていきます。海の水は、やがて蒸発して雲となり、毛勝三山や僧ヶ岳などに雨や雪となって年間約5億トン降り注ぎ、また海へと戻っていくという循環を繰り返しています。

魚津市は、このような水の循環が“ひとつのまちで完結”している世界的にも稀な地形から成り立っています。この特異な地形は、様々な生態系サービスも支えており、魚津で見られる貴重な水の循環システムを総称して「魚津の水循環」と呼んでいます。

この「魚津の水循環」は、魚津市にとって貴重な宝であり、豊かな恵みをもたらす源です。しかし、この貴重な資源も、近年の地球温暖化や人口減

少の影響を受け、森林の荒廃や水田の減少など多くの問題をかかえています。豊かな水資源を次世代へと引き継いでいくために市では環境基本計画を策定し

「水と緑の保全と活用」

「快適な生活環境の保全と向上」

「地球温暖化防止対策・循環型社会の構築」

「市民協働による環境保全・創造」

を4つの柱として、健全な水循環を保全し、より多くの人々にうるおいや活力をあたえられるような環境の創造を目指していきます。

また、来年5月28日には、富山湾や北アルプスが眺望出来る魚津桃山運動公園を式典会場として、天皇皇后両陛下ご臨席のもと、第68回全国植樹祭とやま2017が開催される予定です。

「かがやいて 水・空・緑のハーモニー」の大会テーマのもと、富山県の数多くの魅力を全国に発信し、豊かな自然といきいきと人が輝く魚津にまた訪れたいと思われるような「温かみ」のある大会となるよう、取り組んでいきます。



エコアクション21

## エコアクション21をご存知ですか

公益財団法人とやま環境財団 専務理事 藤平蔵 芳光

### 1 はじめに

近年、環境問題につきましては、ごみなどの身近な問題から地球温暖化など多岐にわたっております。

こうしたなか、当財団は、県民、事業者、行政が一体となって、地域に根ざした環境保全活動を展開し、美しく住みよい富山県の創造に寄与することを目的に設立（平成3年7月）され、この目的達成に向け、各種事業に取り組んでいます。

また、平成12年12月には、富山県地球温暖化防止活動推進センターに指定されたほか、平成17年4月には、環境省が策定した環境マネジメントシステムであるエコアクション21の地域事務局にも指定されており、温暖化対策等の持続

可能な社会の構築に向けた取組みも推進しています。

### 2 エコアクション21とは

私たちの生活や経済活動は、身の回りの自然環境と密接な係わりを持って営まれていることから、自然環境を損なうことなく持続可能な社会を構築するためには、社会を形成するすべての活動が環境影響を重視しながら進めなければなりません。

このため、個人はもとより事業者の皆様には製品やサービスを含む事業活動において、省エネルギー、省資源、廃棄物削減など環境への配

慮を行うことが求められています。

しかしながら、全国的にも多く占める中小事業者においては、省エネ機器への転換など比較的、実行が容易な取組みは進んでいるものの、総合的な環境配慮行動としての事業者の体制作りの取組みは進んでいない状況にあります。

エコアクション21は、この事業者の体制づくりを行う目的で、環境省が国際規格であるISO14001を参考に、主に中小事業者を対象として策定した環境マネジメントシステムです。

現在、全国で7,690（全事業者の約0.1%）の事業者が認証登録され、県内での認証登録数は105事業者（28年3月末）で、県内事業者全体のおよそ0.2%にとどまっており、ISOと比較して全国的にもエコアクション21の知名度は低いのではないかと考えています。

### 3 エコアクション21 認証のメリット

今程も述べましたとおり、エコアクション21は中小の事業者の方々を対象としている性格上、①「中小の事業者でも容易に取組むことができる」、②「環境配慮に必要な取組みが分る」、③「環境コミュニケーションを実現できる」といった特徴があります。その内容は次のとおりとなっています。

**「中小の事業者でも容易に取り組める」とは？**

「環境への負荷の自己チェックの手引き」「環境への取組の自己チェックの手引き」を用い、事業者が自らの環境負荷に関する状況と、環境保全活動の具体的な方法を簡単に把握できるようになっています。

**「環境配慮に必要な取組がわかる」とは？**

把握すべき環境負荷の項目と取組みについて、CO<sub>2</sub>や廃棄物の削減など環境経営にあたっての必須要件を定めています。初めての事業者でも無理なく、具体的な環境保全活動を始められるようになっています。

**「環境コミュニケーションを実現できる」とは？**

「環境活動レポート」の作成を必須要件とすることで、事業者が環境への取組状況等を公表する環境コミュニケーションを行うことにより、取引先やお客様からの信頼を得ることができます。環境活動レポートは、エコアクション21中央事務局のホームページに掲載され、一般の方々が開覧することができます。

出典 環境省

このような特徴から、エコアクション21を導入することにより、事業者の方々には①コストの削減につながった、②親会社や取引先からの環境配慮要求に対応でき、信頼性など社外からの評価が高まった、③企業イメージや企業価値が向上した、④優良産廃処理業者認定制度の要件をクリアー、⑤自治体の建設工事入札における総合評価に加点される、⑥金融機関等による融資金利等の優遇措置を受けることができるほか、地域においても⑦環境負荷の低減につながった、⑧環境意識の向上につながったなど、事業者と地域社会の両者にとって大きなメリットがある取

組みと言えます、環境保護と経済活動の両面でウィンウインの関係が構築できるものと考えています。

### 4 G7富山環境大臣会合の

#### 「富山物質循環フレームワーク」

皆様もご存知のとおり、本県のレジ袋無料配布の廃止など、環境保全に関する取組み実績が国内外に高く評価され、本年5月にG7富山環境大臣会合が本県で開催されました。また、この会合の「資源効率性・3R」の協議では、開催地である「とやま」が冠された「富山物質循環フレームワーク」が採択され、県民の一人として大変名誉あることと考えています。

富山物質循環フレームワークでは、資源効率性や3RにG7として積極的取組むとされたところです。なお、その概要は次に示すとおりとなっています。

**富山物質循環フレームワーク（概要）**

- G7として、「共通のビジョン」を掲げ、協力して具体的な「野心的な行動」に取り組むもの。
- 国際的に協調して資源効率性や3Rに取り組むという強い意志を示した世界の先導事例ともいって国際的枠組み。

**G7 共通ビジョン**

- 共通目標：地球の環境容量内に収まるように天然資源の消費を抑制し、再生材や再生可能資源の利用を進めることにより、資源が効率的かつ持続的に使われる社会を実現すること。
- 自然と調和した持続的な低炭素社会も実現し、雇用を生み、競争力を高め、グリーン成長を実現。

**G7各国による野心的な行動**

- 目標1** 資源効率性・3Rのための国内政策  
 具体例：食品ロス・食品廃棄物対策  
 ・持続可能な開発目標を踏まえ、国内や地域での政策や計画策定など、食品ロス・食品廃棄物の最小化及び有効かつ安全な利用に向けた取組みを加速。
- 目標2** グローバルな資源効率性・3Rの促進  
 具体例：電気電子廃棄物（E-Waste）の管理  
 ・違法取引を防止、国際的に協調行動を強化  
 ・適正な管理能力を有する国への有害廃棄物の輸出は、環境と資源効率・資源循環に寄与
- 目標3** 籠みつかつ透明性のあるフォローアップ  
 ・国内指標を検討  
 ・ワークショップ等を通じて、本フレームワークをフォローアップ

出典 富山県

今後、個人、事業者の方々はこのフレームワークに沿って、色々な取組みを推進することが求められることとなります。

この取組みを実行する場合、事業者の皆様にとってエコアクション21は大いに実効性が高いものとなると思いますので、認証・登録を済まされていない事業者におかれましては、これを機に認証に向けご検討いただければと思います。

### 5 おわりに

県ととやま環境財団では、エコアクション21に取組んでみようとお考えの事業者に対し、認証・登録までを支援する「自治体イニシアティブ・プログラム」事業を毎年実施しております。

例年、参加申込みの受付は8月末頃となっていますので、残念ながら今年度の受付は終了しておりますが、来年度に向けこの事業への参加もご検討いただければと思います。

エコアクション21についての詳細は、ホームページ <http://www.ea21.jp> をご覧ください。

## 第24回立山環境美化登山

開催日：平成28年7月31日(日)

開催場所：立山室堂周辺 参加人数：47名



### 第24回立山環境美化登山レポート

富山県環境保全協同組合 青年部会長 原野 誠

7月31日(日)第24回立山環境美化登山を開催させて頂きました。これは富山県が、自然公園美化思想の普及を図るため実施している自然公園クリーンデーの事業として、当組合が平成5年から24年間継続して実施しており、地域の環境保全に寄与することを目的とし、富山県の代表的な観光地である立山に登り「ゴミを拾う運動」です。

本年も組合各社からのみならず富山県環境政策課、(公財)とやま環境財団からもご参加を頂き、47名で活動を行いました。

毎年参加しておりますが、登山者の方々の素晴らしいマナーもあり、ゴミはほとんど目につきません。立山連峰を望む景観はもちろんのこと、登山道においても非常にきれいで気持ちよく活動することが出来ました。まさに私たち富山県民が誇れる素晴らしい場所!と改めて実感しました。とはいえ、この富山県に長年住みながら、実は今回初めて息子(小学5年生)と共に立山山頂の雄山神社峰本社の参拝を果たしました。息子と共に感じた達成感と喜びは一生忘れることはないと思います。

先輩方が築き上げられ24年間継続してきた本事業ですが、マンネリ化のご意見もあり青年部会内でこの事業のあり方や、同じ目的を持った他の事業への転換の話も出ていました。そんな想いをかかえ参加した今回。しかし、息子と共に出来た経験はこの事業だからこそのものであり、何より参加者の方々より「毎年楽しみにしています、ぜひ来年も参加します」「家族で参加でき、子供たちにとって良い経験になるので有り難いです」というお言葉を頂き、この事業の必要性和開催する意味を実感しました。

「継続は力なり、さらなる継続は宝なり、永遠なる継続は歴史なり」

先輩方の想いによって継続されたこの事業は、多くの方にとってかけがえのないものになっていたのです。この事業は「ゴミを拾う」だけではなく、本事業に参加することにより、《環境に対する意識を改めて認識し、日頃の生活の中に生かして頂く》、ということが元々の目的だったことを再認識し、人に喜んで頂ける事業はやはり継続したいと思います。

この事業(時間)が皆様にとって大切な宝となり、未来に受け継がれる輝く歴史となるよう、今後も先輩方にご指導を頂きながら、青年部会一同取り組んで参りますので宜しくお願い致します。

### 平成27年度「要望書」

市町村の委託又は許可で一般廃棄物の収集運搬業務を行っていますが、富山県環境保全協同組合として現場からの提案であったり、業務の安定、安全、安心のための要望等を毎年、県知事と県議会議長、市町村と各議長に提出しています。都合がつけば市町村長に直接説明をすることもあります。私たちは法律を遵守しながら、住民の皆さんが安心して快適な生活ができるよう日々、こだわりを持って業務を行っています。行政においても担当者が数年で交代されることもあり、情報提供として日頃の課題をお伝えする意味で要望書や陳情書を提出しています。

#### 【平成27年度の要望】

1. 一般廃棄物処理業務委託について安定かつ恒常的な適正契約締結について
2. 下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理計画業務等の合理化に関する特別措置法の遵守について
3. 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換について
4. 浄化槽の信頼向上と安心して使える対策について
5. 震災時の避難所に浄化槽の設置について

### 富山県環境保全協同組合

〒930-0171 富山県富山市野々上字地送6番地  
TEL (076) 434-2802 FAX (076) 434-4440

- (有)朝日衛生社  
〒939-0733 富山県下新川郡朝日町月山 2201  
TEL (0765) 82-0585 FAX (0765) 82-2634
- (株)黒東アメニティ公社  
〒939-0627 富山県下新川郡入善町桐山 802  
TEL (0765) 72-2822 FAX (0765) 74-1422
- 黒部クリーン(株)  
〒938-0015 富山県黒部市北野 47-2  
TEL (0765) 52-0047 FAX (0765) 52-5222
- (株)魚津清掃公社  
〒937-0807 富山県魚津市大光寺 61-1  
TEL (0765) 22-0311 FAX (0765) 23-0536

- (株)公生社  
〒936-0803 富山県滑川市栗山 3596  
TEL (076) 477-1114 FAX (076) 477-1628
- (株)婦中衛生  
〒939-2759 富山県富山市婦中町友坂 252  
TEL (076) 465-5332 FAX (076) 465-5382
- クリーン産業(株)  
〒939-8211 富山県富山市二口町 1-7-13  
TEL (076) 421-5626 FAX (076) 421-5640
- (株)アースクリーン21  
〒934-0056 富山県射水市寺塚原 905-3  
TEL (0766) 84-6648 FAX (0766) 84-4055

- 新高清掃(株)  
〒939-0285 富山県射水市本開発 550  
TEL (0766) 95-1373 FAX (0766) 95-2315
- (株)アムテック  
〒935-0025 富山県水見市鞍川 1383  
TEL (0766) 72-5656 FAX (0766) 72-1808
- (株)高岡市衛生公社  
〒933-0008 富山県高岡市材木町 731  
TEL (0766) 23-2228 FAX (0766) 28-1154
- デムラ工業(株)  
〒933-0806 富山県高岡市赤祖父 557-3  
TEL (0766) 23-7155 FAX (0766) 23-2495

- (有)クリーンアクト砺波  
〒939-1345 富山県砺波市林 1316  
TEL (0763) 32-1235 FAX (0763) 33-2431
- 実研工業(株)  
〒939-1842 富山県南砺市野田 1348  
TEL (0763) 62-0408 FAX (0763) 62-3988
- 日環サービス(有)  
〒939-1542 富山県南砺市梅ヶ島 167-1  
TEL (0763) 22-2922 FAX (0763) 22-7347
- (有)福岡クリーン・アルファ  
〒939-0121 富山県高岡市福岡町下老子 4  
TEL (0766) 64-6677 FAX (0766) 64-6668

- (有)小矢部衛生工業  
〒932-0121 富山県小矢部市矢水町 672  
TEL (0766) 61-4277 FAX (0766) 61-4258
- (有)井庄川衛生工業  
〒932-0315 富山県砺波市庄川町示野 182  
TEL (0763) 82-1164 FAX (0763) 82-6665